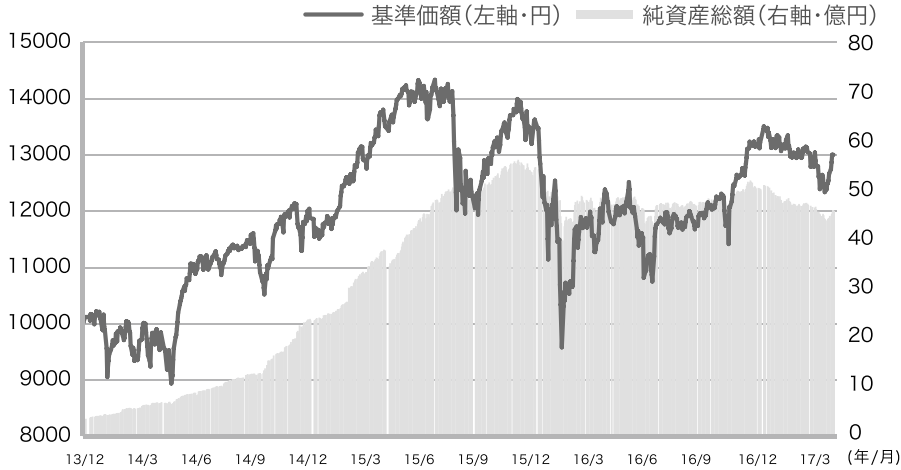




2017年4月28日付

基準価額の推移



分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)
0円	0円	0円

基準価額の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.59%	▲1.19%	5.90%	8.42%	36.33%	30.03%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

受益者の皆様へ

4月14～22日(日経平均株価18300～600円)に開催した東京、大阪、名古屋、福岡での運用報告会では、予想PERの水準が割安であること、及びテクニカル指標(騰落レシオ)がここ数年で最低水準にあることなどから、「積立の継続もしくはスポット買いのタイミング」である旨をご説明しました。5月9日時点で日経平均は20,000円をうかがう水準まで上昇していますが、中長期的な株価の上昇余地はまだ大いに残されていると考えています。一方で今後、欧米政治や地政学的リスクなどの不透明要因によって、株価が乱高下する事態に対しては、これまで通り株式等組入比率を機動的にコントロールすることで、中長期の絶対リターンを重視する運用を目指して参ります。今後とも積立を中心とする中長期目線での資産運用に貢献できるよう、微力ながら尽力したいと思います。



チーフポートフォリオマネージャー 糸島 孝俊

ファンドのデータ

基準価額	13,003円
純資産総額	4,574 百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して
います(後述の「ザ・2020ビジョンの費用」をご覧ください)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加に
より逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、
年率1.242%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

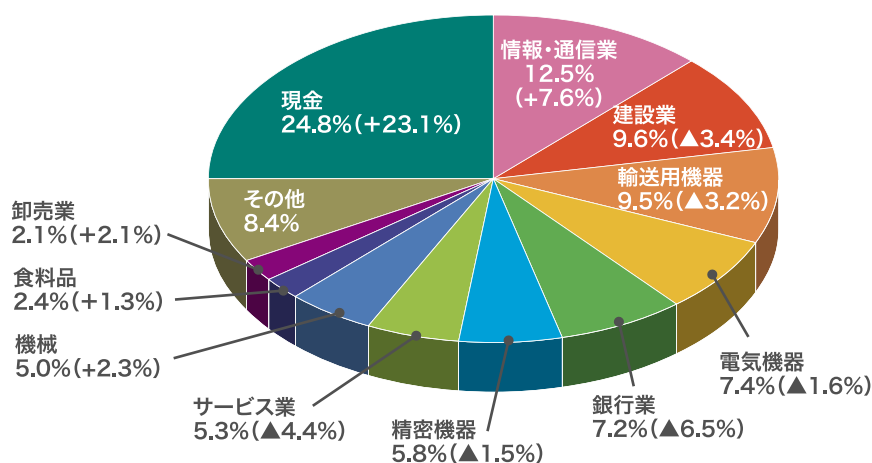
	当月末	前月末比
株式等	75.2%	▲23.1%
現金等	24.8%	23.1%
構成銘柄	51社	▲3社

市場概況

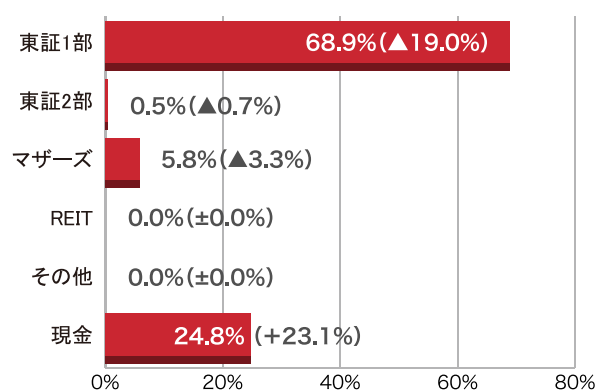
月初から、日経平均が月間最高値(18224円)を付けた17日までは下落基調となりました。要因としては、米国によるシリア空爆や北朝鮮を巡る地政学的リスクの高まりに加え、米トランプ大統領によるドル高牽制発言などによる円高の進行、そして仏大統領選への警戒感などです。

その後、15日(金日成生誕105周年)前後に北朝鮮で懸念されていたミサイル発射がなかったことにより、地政学的リスクの後退とともに過度な円高が是正され、外需株などを中心に買い戻される展開となりました。また23日の仏大統領選第1回投票で反EU派同士の争いにならなかったことや、25日(北朝鮮軍創建85周年)前後に北朝鮮で懸念されていた挑発行動がなかったことなどが市場に安心感を与え、日経平均は前月(3月)末を少し上回る水準まで上昇しました。

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

運用状況

◎主な投資行動

4月初旬は、地政学的リスクの高まりなどを嫌気してジリジリと下落した後、円高一服で市場が自律反発した局面で、銀行業、不動産業、サービス業などを一部売却し株式等組入比率を98%程度から75%程度まで一旦引き下げました。同比率引き下げ後は、北朝鮮などの地政学的リスクや仏大統領選への懸念などから、株式市場は大きく下落する展開となりました。中旬以降は、地政学的リスクの過度な警戒感が払拭したことなどから、情報・通信業や機械、卸売業などを買い付け、同比率を85%程度まで引き上げました。同比率引き上げ後、下旬にかけての相場上昇局面では、銀行業などを一部売却し同比率を70%程度まで段階的に引き下げました。月末には、大型連休を控えてポジション調整の売りで市場が軟調に推移する中、卸売業などを買い付け、4月末の同比率は75.2%としました。

◎ファンド月間リターンとその要因

4月の月間リターンは1.59%の上昇となりました。主な要因は前月までに組入比率を引き上げていた建設業が上昇したことや、今月に組入比率を引き上げた情報・通信業などが上昇したことなどによるものです。当ファンドは絶対リターンを重視しており、ベンチマークは設けていません。参考として、TOPIXは1.27%上昇、日経平均は1.52%上昇となりました。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

組入上位5銘柄の紹介

(2017年3月31日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
三井住友フィナンシャルグループ		3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
銀行業	6.7%	
三菱UFJフィナンシャル・グループ		国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する価値観は「信頼・信用」、「プロフェッショナリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」。
銀行業	5.4%	
トヨタ自動車		新車販売台数で世界トップ(2016年)。約4割を日本で生産。1937年の設立以来、企業理念である「豊田綱領」を受け継ぐ。トヨタ生産方式は、「自動化」(問題の顕在化・見える化)と「ジャスト・イン・タイム」(生産性の向上)の2つの考え方を柱とする。
輸送用機器	4.5%	
クボテック		液晶・有機EL検査装置のカスタム品メーカー。成長が見込める蓄電事業に注力。同社が取り組むフライホイール蓄電システムは、電力で円盤形のフライホイール(高速回転体)を回転させ、電気エネルギーを運動エネルギーに変換して貯蔵。短い時間での充放電に適する。
精密機器	4.2%	
五洋建設		売上高に占める公共工事比率が3割程度と高く、国内およびアジアでの海上土木に多くの実績。東京港埠頭・羽田空港整備、防衛関連工事、国内洋上風力、香港・シンガポール・ミャンマーのプロジェクト、などへの参画が期待され、今後数年、受注拡大が見込める。
建設業	4.0%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

金融庁は3月28日に①「日本版スチュワードシップ・コード(改訂版)」、同30日②に「顧客本位の業務運営に関する原則(フィデューシャリー・デューティー)」を発表しました。①は弊社のような運用会社が対象となる原則で、主な改訂点は「ガバナンス体制の整備と利益相反管理」、「議決権行使結果の個別公表」、「運用機関の自己評価の実施と結果の公表」です。②は運用会社を含む金融機関全体が対象となります。顧客本位の良質な金融商品・サービスの提供を競い合わせるメカニズムの実現を目指すもので、人材不足やリソース不足から原則に対応できないという説明は許されません。これまで多くの運用会社は「株主」という紋所を振りかざし、自分たちも導入できていない企業統治(ガバナンス)の導入を投資先企業に迫ってきました。もちろん弊社も例外ではありません。今後は、運用会社自身が投資先の企業に対して胸を張れるガバナンス体制を体現しなければなりません。①と②の形式を満たすことは最低限ですが、運用会社の役職員がこれまで以上に公正誠実な姿勢で、本質的な受託者責任を果たしていくことこそ肝要であると考えています。運用会社に所属する私自身においても、改めて自らの襟を正して、受益者本位の業務運営を目指す所存です。

金融庁の森長官が推し進める「国民の真の利益を顧みる金融行政」は、多くの金融機関に大きな経営の変化を迫るものであり、結果として金融機関の優勝劣敗が鮮明化するものと予想されます。当ファンド「ザ・2020ビジョン」では、こうした局面を投資のチャンスと捉えています。



シニアアナリスト兼ポートフォリオマネージャー 鎌田 聡

コモンズPOINTからのお知らせ

◎もっと選手もファンも増やしていきたい

3月11日に開催しましたTheCommons 8th Dialog～共に創る"対話"の時間～(コモンズ投信8周年イベント)寄付のしくみの場において、コモンズPOINT応援先「日本視覚障害者柔道連盟」遠藤義安様に活動報告をいただきました。その動画はコモンズTVにてご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=TWBYjl8Pl2s&feature=youtu.be>

同連盟事務局の河野貴子さんも加わってのパネルディスカッションの内容はこちらのブログからどうぞ→http://park.common30.jp/2017/04/blog-post_81.html

現役選手に先生になっていただいた「こどもトラストセミナー」の様子も同ブログにてご紹介しています。→http://park.common30.jp/2017/04/blog-post_5.html



◎第10回記念全国視覚障害者学生柔道大会 開催決定

日時:2017年8月20日(日)10時 試合開始。場所:静岡県浜松市武道館。入場料無料。

年に一度の学生大会、会場での応援が可能な方は東京パラリンピック出場を目指す選手たちの応援をお願いいたします。

また4月～6月で行われている1クリックで大会開催を応援できるクリック募金にもぜひご参加ください。

<http://www.noe.jxtg-group.co.jp/csr/jxtg/click-sports/>

コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。<http://www.common30.jp/seminar/>

◎糸島孝俊メディア出演情報

日付	時間	メディア	備考
5月12日(金)	22:00～23:00	BSジャパン「日経プラス10」	22:50頃インザマーケットのコーナーに生出演
5月18日(木)	5:45～7:05	TV東京「モーニングサテライト」	5:58頃「今日の株式見通し」に生出演

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
(株)SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券(株)	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)

03-3221-8730

■ウェブサイト

<http://www.common30.jp/>

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階